

NICE SMILE

地方独立行政法人 りんくう総合医療センター ● 院外・院内広報



「吾唯足るを知る」・・・欲しがることをやめてみる(釈尊)。
▶ 座右の銘 書家 角谷 俊彦氏書
京都 龍安寺のつくばいで有名です。

年頭挨拶



2017年、地域医療の改革と
りんくう総合医療センターの改革

地方独立行政法人
りんくう総合医療センター 理事長

八木原 俊克

新年を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

昨年、大隅栄誉教授がノーベル医学生理学賞を受賞され、日本人の2年連続受賞という、医療界にとってはまさかの素晴らしいニュースがありました。一方、まさかと思う奇怪・不審な医療関連ニュースも幾つかありました。また、海外では英国のEU離脱の是非を問う国民投票や米国の大統領選挙では、まさかの結果となり、昨年は「まさか」の年であったような気がします。

さて、新年早々に翌年の話をするのはいかがでしょうかと思いますが、急速な医療制度改革が進む中、皆様ご存じのように来年は介護報酬・診療報酬の同時改定の年であり、さらに第7次医療計画、第7期介護保険事業(支援)計画、第3期医療費適正化計画がスタートします。目標となる2025年に向けた重要施策として、今後の医療・介護の領域において極めて大きな節目になる年とされ、2018年問題とも言われています。施策のキーワードとして、効率的かつ質の高い医療提供体制、地域医療構想策定、協議の場、地域包括ケアシステム、切れ目のない医療と介護の提供体制、地域完結、等々、多くの文言が並んでいます。地域の限られた医療・介護資源の中で、役割をよく相談し、効率を高め、質を維持・向上させ、何とか2025年を乗り切ろう、といったところでしょうか。

りんくう総合医療センターは、泉州南部地域の中核病院としての自覚を持ち、この1年、今後の医療改革に即応できるように、さらなる足腰の強化のための改革に取り組む所存です。そのためにも、今年には是非ともよい意味での「まさか」に溢れたよい年にしたいと思っております。

泉州南部地域の大きな宝である病々・病診連携をはじめとする地域連携の一層の促進を図り、皆様方と共に地域完結型医療へまい進したいと考えています。本年も引き続き皆様方のご理解とご支援をよろしく願います。

CONTENTS

表紙作品 / 「年頭挨拶」 理事長 八木原 俊克	1	りんくうリレーマラソン 2016 /	
「年頭挨拶」 病院長・医療監・副病院長・事務局長	2~3	りんくうクリスマスコンサート vol.18 /	
「年頭所感」 各部門長	4~11	編集後記 / 人権標語	12